

架け橋

～広域紋別病院だより～



流水公園に咲くラベンダー

目次

1. 表紙
2. ベストを尽くせ!(Do My Best)を合い言葉に
3. 診療部から(精神科)
4. 医療技術部から(臨床工学係)
5. 看護部から(第4病棟)
6. 7月から着任した医師の紹介・健康レシピ(栄養指導係)
7. クイック検診のお知らせ・新病院の建設工事の今(建設準備室)
8. 病院行事報告・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

”ベストを尽せ! (Do My Best)”を合い言葉に



副院長兼看護部長 石川 ひろみ

紋別市をはじめ、5市町村のみなさまには初めてご挨拶の機会を頂きます。この度、広域紋別病院の副院長兼看護部長に就任致しました。

1年前に看護課長として就職し、前部長の定年退職を機に大役を引き継ぐことになりました。

以前は北海道職員として、旧紋別病院に勤務後、平成17年4月から日本海、オホーツク海を行ったり来たりの転勤族で8年間を過ごしました。

生まれも育ちも紋別ですので、年々“里心”が強まりました。一昨年に当院へのお誘いを頂き、「地元に戻って少しでも恩返しをしたい」という気持ちから、第二の看護師人生を送ることを決めました。

幸いにも、平成27年度には新病院が建ち、ハード、ソフトの両面から一新されます。

職員にとっては日々の診療業務と共に、新病院の準備を平行して行う負担は決して軽くはありません。

ですが、この転換期が地元の方々に愛され、今まで以上に頼りにされる病院へと成長できるチャンスでもあることを、前向きに受け止められる頼もしい仲間達と共に準備に携われることを楽しくやりがいのある毎日だと感じております。

広域紋別病院は、この地域の医療の要です。地域のみなさまの生命と健康の営みに、どう温かく、力強く関わり続けられるかを考え抜いていくことが使命だと思っております。

その中で看護部は総勢約90人程の大所帯で、平均年齢38才の腕利きのプロ揃いです。

少子高齢社会の今、女性のパワー、能力が社会的にも期待されている中で、この女性組織が新病院に向けてどのように考え、行動するかが病院にとっても重要な核となります。

私達看護職は、心をひとつに「Do My Best」を合い言葉とし、「観て、聴いて、感じて、最善の看護を提供する」ことを理念に掲げて新年度をスタート致しました。

今後とも地域のみなさまに温かく見守って頂けますようよろしくお願い申し上げます。



診療部から



精神科診療部長 塚本 壇

～もしかして認知症？～

当院では認知症の相談は精神科で行っています。何かお手伝いできることがあるかもしれませんので、問題が大きくなる前に、一度気軽に足を運んでみて下さい。

▼初めて精神科を受診する場合(新患)

精神科では、初めて受診する場合(新患)と2回目以降に受診する場合(再来)を区別して診療を行っています。新患の診察は(月)(火)(木)(金)の午後、1人あたり約1時間をかけてじっくり行っています。新患は予約制ですので、詳しくは直接あるいは電話でお問い合わせ下さい。

▼本人が精神科を受診したがない場合

「病気じゃない」「面倒くさい」「精神科だけには行かない」などの理由で精神科を受診したがない場合もあると思います。本人の同意がない状況で本人名義の診療録を作成(新患受付)することは、プライバシーの侵害となるためできません。

したがって、そのような場合は相談者(御家族)が御自身の名義で新患受付をして頂き、「家族のことで相談にきた」という体裁をとって頂ければ、精神科で相談することが可能です。よくわからない場合は直接窓口に来て頂ければ御説明申し上げます。

▼異常と正常の境界

誰でも旬の芸能人の名前がすぐに出て来なかったり、財布の置き場所が分からなくなったりすることはあります。いわゆる『ど忘れ』であれば、ちょっとしたきっかけで思い出すことができますが、認知症ではそもそも覚える能力が障害されており、思い出すことができません。このように、認知症では初期には覚える能力が障害され(主に海馬の萎縮が関連します)、進行とともに過去の記憶も思い出せなくなっていく(主に大脳皮質の萎縮が関連します)。『昔のことはよく覚えている』というのはそういうことです。

▼どのように診断するのか？

まずは詳しくお話をうかがいます。「物忘れ」がいつ頃から始まり、どのように悪化していったのか、「物忘れ」により生活場面でどのような障害が生じているのかを検討します。麻痺症状やパーキンソン症状が合併していないかどうかを確認します。また老年期のうつ状態や意識障害が併存していないかを確認します。

一般的な認知機能検査(長谷川式・MMSE・立方体模写・時計描画)を行います。診察前に施行した頭部CTや血液検査の結果も参照し、認知症を総合的に診断します。診断結果とこれから予測される経過について説明させて頂き、短期的な治療方針、中・長期的な治療方針を提案致します。

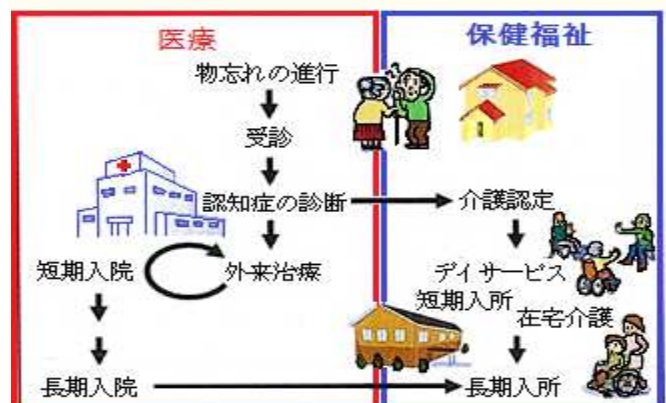
当院では遠軽厚生病院と連携しており、より詳しい検査(脳血流SPECTや心筋シンチグラフィ)を行うことも可能です。

▼薬物療法について

昼夜逆転や徘徊、怒りっぽさ、被害妄想、覚醒水準の低下(居眠り運転のような頭の状態)、記憶障害などに薬物療法が助けとなる可能性があります。個別に相談に応じますが、必ずしも薬物療法を行うわけではありません。

▼薬物療法以外について

困ったときの対応の仕方や介護保険の申請なども含めて、個別に相談に応じます。少しでも今の生活が長く平和に続くよう、精神医療の立場からお手伝いしたいと思っております。



医療技術部から

【臨床工学係について】

臨床工学係は臨床工学技士3名で構成されています。

臨床工学技士とは、1987年に成立した資格で、CE (Clinical Engineer) と呼ばれ、医師の指示の下に、血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器等の生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを仕事とする医療職です。



《血液浄化業務》

体内に貯まった老廃物などを排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合に行う治療で、血液透析療法、血漿交換療法、血液吸着法など様々な血液浄化療法が存在します。

臨床工学技士は穿刺や人工透析装置の操作を行います。また、特殊材料（ダイアライザー、カテーテル、透析液等）の評価及び、情報提供なども行っています。

《呼吸治療業務》

肺の機能が働かなくなり、呼吸が十分にできなくなった患者さんには呼吸を代行するための人工呼吸器という装置が装着されます。

その際、臨床工学技士は人工呼吸器が稼働している場所へ行き、安全に装置が使用されているか、また、装置に異常がないかなどを確認します。

また、最適な使用方法の提案や、関連した技術の提供を行っており、人工呼吸器のメンテナンス・管理等も行っています。

《手術室業務》

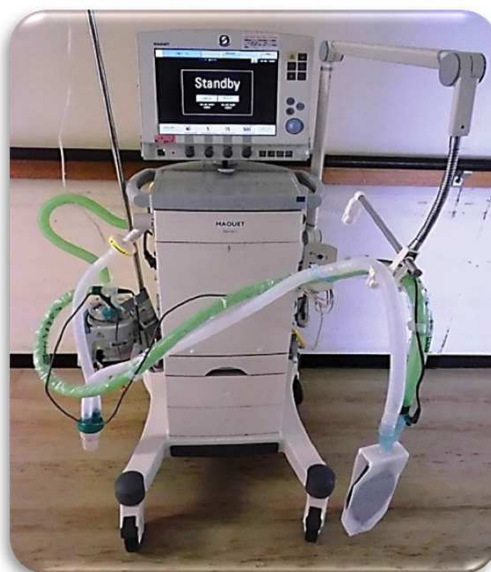
手術室には、大小合わせて医療機器が数多く存在します。

手術の内容により使用される機器は多種多様であり、手術が円滑かつ安全に行われるように臨床工学技士は、その手術室内の広範な医療機器の操作や事前の管理を行います。

《医療機器管理業務》

医療施設の様々な分野で使用される医療機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、除細動器、心電図モニター、パルスオキシメータ等）を、安全に使用できるようにまた、機器の性能が維持できるように保守・点検を行います。

また、病院で使用されている医療機器の稼働率や平均使用台数の算出により、適正保有台数の把握や、医療機器に関する安全情報の提供や購入から廃棄に至るまでの管理面でのサポートを行っています。



看護部から

【4病棟について】

4病棟は、外科・整形外科・小児科の3科混合病棟になっています。

外科では主に、消化器系の手術を中心に行われています。

私達看護師は手術前・手術後から、患者様が退院に向かえるようスタッフ間で協力し24時間看護を行っています。



整形外科では、手術後リハビリを行い自宅や介護施設へと退院される患者様がほとんどです。

患者様がリハビリを順調に進められ、手術前の状態に少しでも近づけられるよう、医師や理学療法士と共にリハビリを進めています。

小児科では肺炎や喘息、冬季にはインフルエンザや胃腸炎で入院してくる子供達が多くなります。

入院時には症状が重くても、点滴や内服治療を行い数日間で軽快に向かうことができ、子供達の回復力の速さを日々実感しています。

お子供達や人生の先輩である患者さま達が、元気に退院する姿を見るのは看護師としてとても嬉しく、仕事にやりがいを感じる瞬間でもあります。

このように3科が混合し手術や検査でめまぐるしい病棟ですが、忙しい中でも笑顔の絶えない、活気ある楽しい環境で毎日仕事ができることが、4階病棟の自慢ではないかと思っています。

今後もし入院される機会がありましたら、医師や他職種の方々と連携し患者様それぞれに合った、より良い看護をとびきりの笑顔で提供できるように、スタッフ一同協力していきたいと思えます。



『ナースこぼなし』 その4

「このアンパンマンの顔焦げてない？」小児科の子どもの点滴テープを目にしたことがありますか？イラストが書いてありますよね。

実は、あのイラストは外来や病棟の看護師のお手製で、病棟では夜勤業務の一つです。

自分のセンスで自由に描く人、写し絵する人…方法はそれぞれですが、スタッフみんなの「早く元気になって欲しいという思い」がたっぷりと詰まっているんです。

中には「どこか違うぞ!？」と思うイラストもあるかもしれませんが、イラストを見て、一瞬でも笑顔になれたり、リラックスしてもらえると嬉しく思います。

7月から着任した医師の紹介

担当科	氏名	役職	出身大学	赴任に当たり一言／趣味
麻酔科 内科	こいずみ ともや 小泉 智弥	医長	自治医科大学 平成14年卒	手術麻酔と内科を行っております。紋別は美味しい食べ物がたくさんあるので、これ以上体重を増やさないよう気をつけようと思います。よろしくお願いいたします。 趣味： グルメツアー・ドライブ

健康レシピ

夏バテ防止レシピ ～《栄養指導係》～

『鶏肉と夏野菜のさっぱりマリネ』

なすとトマトって相性抜群ですよ。じつはトマトは、ナス科の野菜なのです。

なすの皮に含まれるナスニン、ピーマンのカロテン、トマトのリコピンやビタミンC、と夏が旬の野菜は抗酸化作用の高い栄養素を豊富に含んでいます。

良質なたんぱく質を含む鶏肉は免疫力を高めるビタミンAも豊富です。

夏野菜と組み合わせるこちらの一品は、夏の陽射しから体を守る効果も期待できガン予防にも有効です。



《材料／2人分》

鶏肉	200g
なす	2個
ピーマン	2個
トマト	1個
しょうゆ	小さじ1

A

しょうゆ	50cc
酢	50cc
砂糖	大さじ1弱
唐辛子(小)	1本
小麦粉	適量
揚げ油	適量

《作り方》

- ① 鶏肉を1口大に切り、しょうゆ小さじ1をかけて手でよくもみ込み、10～20分ほどなじませる。
- ② なすは2cmの輪切り、ピーマンは乱切り、トマトは1cmのサイコロに切る。
- ③ Aをさっと煮立てておく。
- ④ フライパンに油をひき、なすとピーマンは素揚げ、鶏肉は小麦粉をまぶして揚げる。
- ⑤ ④が熱いうちに③の液につける。
- ⑥ 十分に味がなじんだら器に盛り、トマトものをせる。

クイック検診のお知らせ

普段の健康状態・・・気になりますか？！

当院では平成26年6月から「クイック検診」をはじめました。

検査の種類は6項目あります。

- ♥ 貧血(貧血の有無、程度がわかります)・・・セットだと無料
- ♥ 肝機能(肝臓の働きがわかります)
- ♥ 腎機能(腎臓の働きがわかります)
- ♥ 脂質(コレステロールのバランスがわかります)
- ♥ 血糖(血糖値や長期間の血糖状態がわかります)
- ♥ 肺機能(肺年齢がわかります)

検診の流れ



医師の診断結果は1週間位でご自宅にお送りします。

※ 実施時間 午前9時～12時 午後1時～4時

料金	検査内容
各500円	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、糖質と検尿)の中から1つ 肺機能のみ 貧血検査のみ
1000円セット	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、血糖と検尿)の中から2つ
1500円セット	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、糖質と検尿)の中から3つ
2000円セット	貧血、肝機能、腎機能、脂質、血糖+検尿の全て
2500円セット	肺機能も含めた全て

待ち時間が殆どありません

広域紋別病院

新病院の建設工事の今

○現在の新病院建設工事の様子

現在、5階躯体の工事と1階より壁下地工事が進められております。

また、これから木質バイオマスボイラー棟や駐車場などの工事も進められます。



現在の建築中の新病院



1階に窓枠を取り付けています

病院行事報告

1. 「ふれあい看護体験」を実施しました。

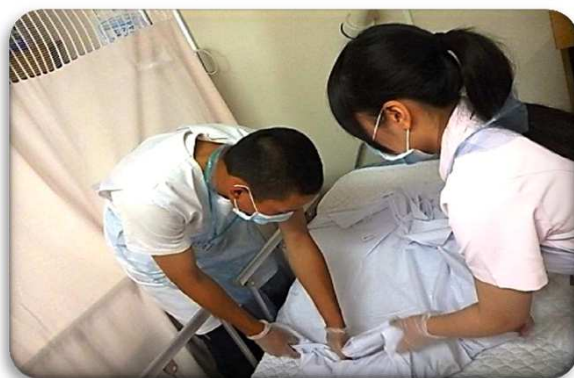
看護週間の行事として、5月30日、6月3日・17日の3日間で、計27名の看護職や医療職をめざす地域の高校生を対象に、ふれあい看護体験を実施しました。

実際に、病棟で患者様とコミュニケーションや看護ケアの体験をしていただき、全体会で感想をいただきました。

コミュニケーションの難しさを感じてはいましたが、楽しく笑顔で体験されていました。

毎年、参加人数が増えており医療職に対する関心がふかいと感じています。

今後も看護部として続けて行きたいと思っています。



2. 「第9回市民公開講座」を開催いたします。

日時： 9月25日(木) 18:30 ~ 20:00
場所： 紋別市文化会館 1階 大ホール

- ① 講師： 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座(第2内科)
西田 絢一 特任助教
- ② 講師： 札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座(第1外科)
植木 知身 特任助教

※なお、講演テーマにつきましては、「広報もんべつ9月号」でお知らせします。

編集後記

この頃の天気は、暑くなったり肌寒くなったりの繰り返しで、体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

気象庁の長期予報によると今年の夏は冷夏とのことでしたが、最近7月は暑くなるとの変更が発表されました。この頃の天候はめまぐるしく変わり、予報がしづらくなっているようです。

さて、新年度には、いよいよ新病院への引越が待っています。

現在ありとあらゆる準備を進めていますが、今は、何事もなく、無事開院できることを祈るばかりです。

編集： 広域紋別病院広報委員会
発行： 広域紋別病院
〒094-8709
紋別市緑町5丁目6番8号
TEL・FAX 0158-24-3111

URL：<http://www.mombetsu-hospital.jp/>